

2012 ERINA Policy Proposal Seminar
「北東アジア新時代」への道のり
2012年4月11日(水)

中国東北三省と日本の貿易・投資関係

公益財団法人 環日本海経済研究所 (ERINA)
朱 永浩

1

1. 本報告の目的

①貿易・直接投資を中心に、日本と中国東北三省の経済関係について検討を行い、②どのような課題があるのかを考察する

2

図1 東北三省の位置図



(注※) 大図們江開発のエリアは中国遼寧省・吉林省・黒龍江省・内モンゴル自治区、北朝鮮羅先経済貿易区、モンゴル東部地方、韓国東部港湾都市、ロシア沿海地方の一部が含まれる
 (出所) 朱永浩 (2009)「中国から見た北東アジア地域協力の現状と課題—中国東北振興政策との関連を中心に」『北東アジア研究交流ネットワーク年報』第3号、25頁より一部加筆

2. 高成長続く東北三省経済

- ◆ 東北三省は、伝統的に重化学工業が発達し、豊富な資源と農業基盤もある。鉄鋼、自動車、機械工業、農業、食品加工、石油化学、石炭等の産業のシェアが高い
- ◆ 東北振興開始以来、三省の経済成長は著しい。遼寧省と黒龍江省は02年以来9年連続、吉林省は03年以来8年連続の二桁成長(図2)

表1 中国東北三省の経済概況(2010年)

	遼寧省	吉林省	黒龍江省	全国
面積(万km ²)	14.8	18.7	45.4	959.7
人口(万人)	4,375	2,747	3,833	134,091
GRP・GDP(億ドル、名目)	2,702	1,269	1,518	58,733
経済成長率(%、実質)	14.2	13.8	12.7	10.3
一人当たりGRP・GDP(ドル、名目)	6,176	4,620	3,960	4,380
都市住民の一人当たり可処分所得(ドル)	2,593	2,256	2,028	2,797
農民の一人当たり純所得(ドル)	1,011	913	909	866
都市部失業率(%)	3.6	3.8	4.3	4.1

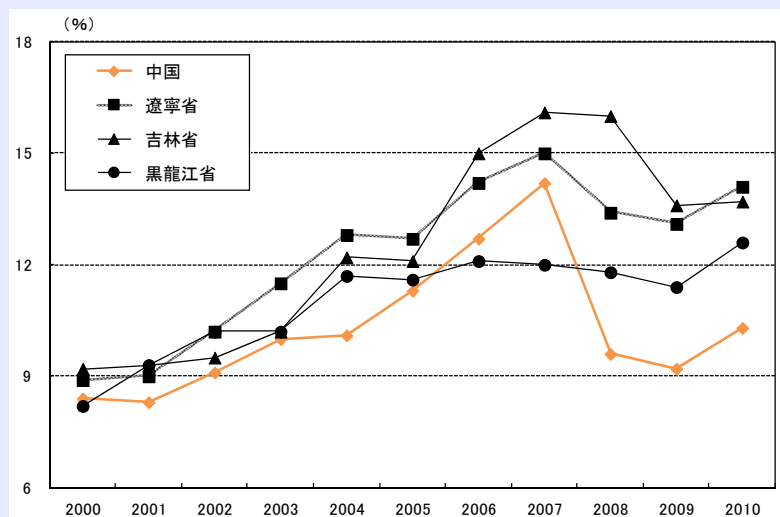
(注1) GRP・GDP、一人当たりGRP・GDPおよび都市住民・農民の所得は、元/米ドル為替レートにて算出

(注2) 都市部失業率は、都市部の登録ベースのみであり、都市部で登録していない失業者と農村部の失業者、国有企業レイオフ者の一部が含まれていない

(出所) 中国国家統計局『中国統計年鑑』2011年版より作成

5

図2 東北三省の実質経済成長率



(出所) 環日本海経済研究所編『北東アジア経済データブック2011』2011年12月より作成

6

- ◆ 経済成長と同時に、東北三省の対外貿易額と直接投資受入額も増加(表2)
- ◆ 2010年の東北三省の直接投資受入額は、246.9億ドルで、中国全体の23.4%を占める
- ◆ 近年、東北三省直接投資受入増加分のほとんどは遼寧省によるもの。いわば、「遼寧省の独走現象」(図3)

7

表2 東北三省の輸出入額の推移

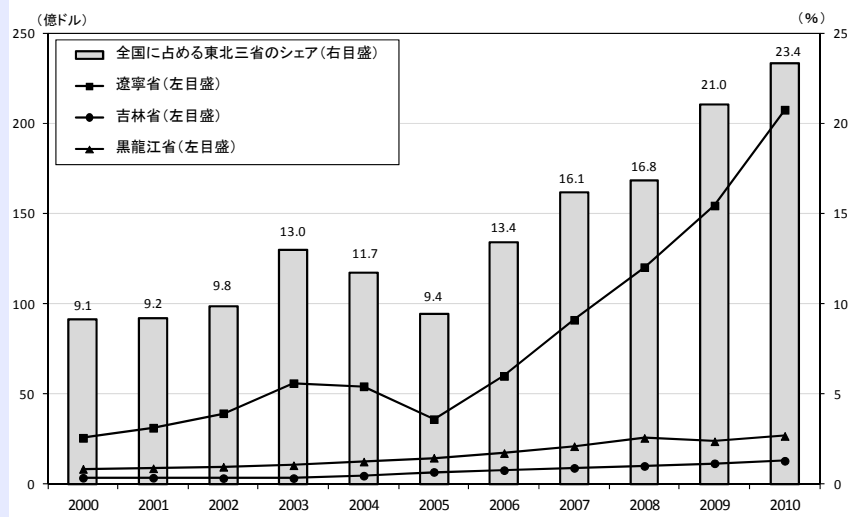
(単位:億ドル)

年	遼寧省		吉林省		黒龍江省		中国	
	輸出額	輸入額	輸出額	輸入額	輸出額	輸入額	輸出額	輸入額
2000	108.5	81.7	12.4	13.1	14.5	15.4	2,492.0	2,250.9
2001	111.1	88.0	14.6	16.7	16.1	17.7	2,661.0	2,435.5
2002	123.7	93.7	17.7	19.3	19.9	23.6	3,256.0	2,951.7
2003	146.3	119.3	21.6	40.1	28.7	24.6	4,382.3	4,127.6
2004	189.2	155.2	17.2	50.8	36.8	31.1	5,933.2	5,612.3
2005	234.3	175.7	24.7	40.6	60.7	35.0	7,619.5	6,599.5
2006	283.2	200.7	30.0	49.2	84.4	44.2	9,689.8	7,914.6
2007	353.2	241.5	38.6	64.4	122.6	50.4	12,204.6	9,561.2
2008	420.7	303.6	47.7	85.6	168.1	63.2	14,306.9	11,325.7
2009	334.1	295.2	31.2	86.2	100.8	61.5	12,016.1	10,059.2
2010	431.0	376.1	44.8	123.7	162.8	92.3	15,777.5	13,962.4

(出所) 環日本海経済研究所編『北東アジア経済データブック2011』2011年12月より作成

8

図3 東北三省の直接投資受入額および中国全体に占めるシェアの推移



(出所) 環日本海経済研究所編『北東アジア経済データブック2011』2011年12月より作成

9

3. 東北三省の対日貿易の特徴

- ◆ 2010年の日中貿易額は、2,978億ドルに達し、中国貿易総額の10.0%を占めた
- ◆ 中国にとって日本は最大の輸入相手国、4番目の輸出相手国(表3)。日本にとって中国は最大の貿易パートナー
- ◆ 日中貿易が拡大するなか、日本の東北三省向け貿易も増加傾向(表4)

10

表3 相手国・地域別にみる中国の輸出入額の推移

(単位:億ドル)

	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010
輸出	総額	2,492	2,661	3,256	4,382	5,933	7,620	9,689	12,178	14,307	15,778
	日本	417	449	484	594	735	840	916	1,020	1,161	1,210
	米国	521	543	699	925	1,249	1,629	2,034	2,327	2,524	2,833
	香港	445	465	585	763	1,009	1,245	1,553	1,844	1,907	2,183
	韓国	113	125	155	201	278	351	445	561	739	688
	台湾	50	50	66	90	135	165	207	235	259	297
	ドイツ	93	98	114	174	238	325	403	487	592	680
	ロシア	22	27	35	60	91	132	158	285	331	175
	モンゴル	1	1	1	2	2	3	4	7	9	11
	北朝鮮	5	6	5	6	8	11	12	14	20	19
輸入	総額	2,251	2,436	2,952	4,128	5,612	6,600	7,915	9,560	11,326	13,962
	日本	415	428	535	741	943	1,004	1,157	1,339	1,506	1,767
	米国	224	262	272	339	447	486	592	694	814	1,021
	香港	94	94	107	111	118	122	108	128	129	87
	韓国	232	234	286	431	622	768	897	1,038	1,121	1,025
	台湾	255	273	381	494	648	747	871	1,010	1,033	857
	ドイツ	104	138	164	243	304	307	379	454	558	557
	ロシア	58	80	84	97	121	159	176	197	238	212
	モンゴル	2	2	2	3	5	5	11	14	15	14
	北朝鮮	0	2	3	4	6	5	5	6	8	8

(出所) 中国国家统计局『中国統計年鑑』各年版より作成

表4 東北三省の対日輸出入額の推移

(単位:百万ドル)

	2000年		2005年		2010年	
	輸出額	輸入額	輸出額	輸入額	輸出額	輸入額
全国	41,654	41,510	83,986	100,408	121,052	176,731
中国対外貿易額に占めるシェア(%)	(18.5)	(16.7)	(12.7)	(13.2)	(8.7)	(11.2)
遼寧省	3,804	2,841	6,500	4,284	9,816	6,090
全国対日貿易額に占めるシェア(%)	(9.1)	(6.8)	(7.7)	(4.3)	(8.1)	(3.4)
遼寧省の対外貿易額に占めるシェア(%)	(46.6)	(26.2)	(37.0)	(18.3)	(26.1)	(14.1)
吉林省	311	179	474	900	522	2,470
全国対日貿易額に占めるシェア(%)	(0.7)	(0.4)	(0.6)	(0.9)	(0.4)	(1.4)
吉林省の対外貿易額に占めるシェア(%)	(23.7)	(14.4)	(11.7)	(36.5)	(4.2)	(55.2)
黒龍江省	1,030	115	301	335	329	286
全国対日貿易額に占めるシェア(%)	(2.5)	(0.3)	(0.4)	(0.3)	(0.3)	(0.2)
黒龍江省の対外貿易額に占めるシェア(%)	(66.9)	(7.9)	(8.6)	(5.5)	(3.6)	(1.8)

(出所) 朱永浩「推進中国東北地区と日本経済合作的対策研究」李聖華ほか『中日経済貿易合作研究』経済科学出版社、2011年、113頁

東北三省の対日貿易について、3点が指摘できる

- ①全体的に日中貿易における東北三省のプレゼンスが低下傾向(表4)
- ②直接投資受入状況と同様に、対日貿易においても「遼寧省の独走現象」
- ③項目別にみると、「機械類および電気機器」のシェアが多い遼寧省に対し、吉林省と黒龍江省は一次産品およびその加工品に集中(表5)

13

表5 項目別にみる東北三省の対日輸出入(2010年、金額ベース)

(単位:%)

商品分類		遼寧省		吉林省		黒龍江省	
項目	4桁HSコード	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入
動植物生産品	0101~1605	7.7	1.9	34.2	0.3	31.3	0.5
飲食品	1701~2403	2.6	0.1	10.0	0.0	4.3	0.1
金属・鉱物	2501~2715	6.6	1.2	0.2	0.7	2.4	0.1
化学・医薬品	2801~3825	3.0	8.5	12.1	0.7	18.5	3.5
ゴム・皮革	3901~4304	2.7	8.2	0.3	1.4	1.5	0.9
紙・木材製品	4401~4911	3.9	1.5	8.8	0.0	27.8	0.3
繊維・衣料品	5001~6310	13.4	4.8	10.8	0.6	1.4	0.1
履物、帽子及び他の装飾品	6401~6704	1.1	0.0	0.3	0.0	4.1	0.0
ガラス・陶磁製品	6801~7020	1.3	0.5	0.1	0.3	0.1	1.1
真珠・貴石装身具	7101~7118	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
金属製品	7201~8311	8.4	16.0	3.7	4.6	1.1	20.9
機械類及び電気機器	8401~8548	35.9	45.3	6.7	31.2	3.7	56.2
運輸設備	8601~8908	3.9	5.8	0.6	51.1	0.0	5.4
器械計器	9001~9209	2.9	5.3	9.9	7.3	1.1	10.8
家具玩具	9401~9706	6.6	0.6	2.3	1.7	2.7	0.1
日本向け輸入額、輸出額(百万ドル)		9,816	6,090	522	2,470	329	286

(出所) 朱永浩「推進中国東北地区と日本経貿合作的対策研究」、李聖華ほか『中日経済貿易合作研究』経済科学出版社、2011年、114~115頁

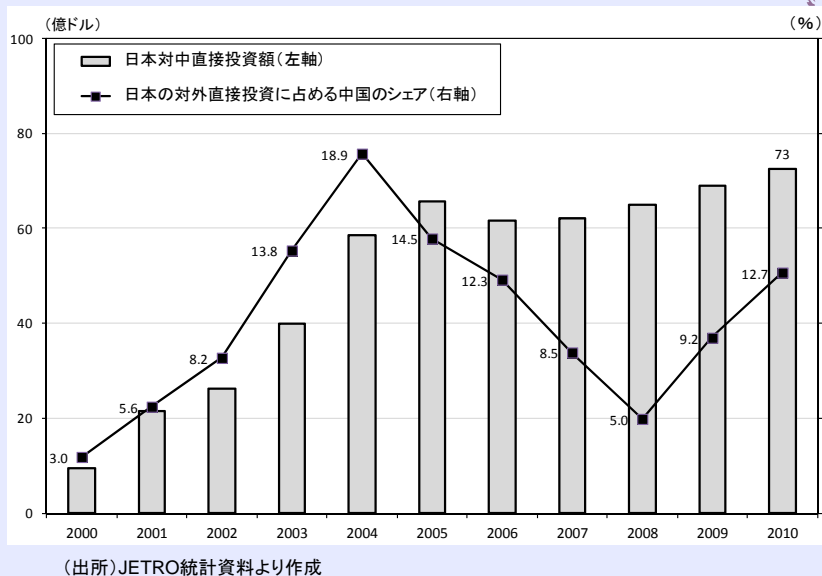
14

4. 日本対東北三省投資の現状

- ◆ 日本の対中投資は増加基調。日本対外投資に占める中国のシェアも上昇傾向(図4)
- ◆ 近年、中国内需市場開拓を図る日本企業の進出は、沿海部のみならず、東北三省、内陸部にも増加傾向(表6)
- ◆ 日本の直接投資および長期滞在邦人数は遼寧省大連市に集中。内陸部(吉林省、黒龍江省)への投資は少ない(表7)

15

図4 日本の中直接投資の推移



16

表6 時期別にみる日本対中直接投資の投資誘因、進出先、業種の変化

	1980年代後半	1990年代前半	1990年代後半	2000年代前半	2000年代後半	2010年代前半
投資誘因	①安くて優秀な労働力が豊富	①に加え、②インフラの充実、③市場経済化	①～③に加え、④部品調達	①～③に加え、④市場、⑤WTO加盟、⑥頭脳(R&D)	①～⑥	①～⑥、第3国・地域での事業展開
主な進出先	大連	大連、珠江デルタ	珠江デルタ、長江デルタ	珠江デルタ、長江デルタ、環渤海地域	珠江デルタ、長江デルタ、環渤海地域	珠江デルタ、長江デルタ、環渤海地域、内陸部
主な業種	繊維、雑貨、食品加工	繊維、雑貨、食品、電気・電子、機械、バイク	繊維、雑貨、食品、電気・電子、機械、化学	自動車、食品、電気・電子、機械、化学、ソフトウェア開発、R&Dセンター	自動車、食品、電気・電子、機械、化学、省エネ・環境、卸売・小売、金融・保険、ソフトウェア開発	自動車、食品、電気・電子、機械、化学、省エネ・環境、卸売・小売、金融・保険、ソフトウェア開発

(出所)JETRO『中国GDP世界第2位時代の日本企業の中対中ビジネス戦略』2011年、22頁

表7 東北三省における日系企業数および在留邦人数の推移

		日系企業数(社)							
		2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
遼寧省		593	682	803	876	962	1,214	1,505	1,335
	大連市	508	580	693	763	843	1,087	1,395	1,180
	瀋陽市	58	72	76	88	91	95	78	115
吉林省		13	30	31	36	46	51	54	62
	長春市	8	23	24	30	35	39	41	49
黒龍江省		13	17	17	16	16	16	16	21
	ハルビン市	12	15	15	14	14	14	14	17
東北3省合計		619	729	851	928	1,024	1,281	1,575	1,418
		在留邦人数(人)							
		2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年
遼寧省		2,670	3,361	3,793	4,805	4,935	5,756	6,313	7,101
	大連市	2,312	2,823	3,145	4,020	4,123	4,868	5,427	6,151
	瀋陽市	310	438	515	627	641	709	661	729
吉林省		242	327	349	374	383	375	418	443
	長春市	194	293	257	264	267	262	282	299
黒龍江省		221	285	205	233	235	260	271	290
	ハルビン市	207	235	175	190	184	201	196	209
東北3省合計		3,133	3,973	4,347	5,412	5,553	6,391	7,002	7,834

(注1)各年10月1日時点のデータ

(注2)日系企業数は東北三省各都市の日本会・商工会を通じ実施した調査等をもとに算出

(注3)在留邦人数(3カ月以上滞在)は在留届をもとに取りまとめ

(出所)在瀋陽日本国総領事館資料より作成

日本企業が遼寧省に進出する主な理由

- ①製品の納品先となる取引先(主に大型国有企業)が近くにあること
- ②地元政府が日本企業の誘致に熱心であること
- ③日本語能力が高く、真面目で、比較的安価な人材がいること
- ④消費市場として今後の成長が期待できること

(出所) 及川, 2012

19

- ◆ 遼寧省への進出理由の③、④に関しては、吉林省、黒龍江省も同じ優位性をもつ
- ◆ 現段階では、東北三省内陸部に日本企業がその力を生かせるような産業集積はまだ不十分
- ◆ 安心かつ安価な物流サービスの提供を実現することが、日本企業の東北内陸部進出を決定する際の重要な要素

20

5. 結びにかえて—今後の課題

- ◆ 日本との貿易・投資関係において、吉林省、黒龍江省を凌駕する牽引力をもつのが遼寧省
- ◆ 東北内陸部の投資環境向上に向けて、物流環境の改善が重要。また、東北全体の物流環境改善を考える際、東北三省の域内連携も重要
- ◆ 東北三省では、日本企業の堅実な経営と高品質を生み出す技術・ノウハウは依然評価されている。そのメリットを活かしつつ、中長期的マーケティング戦略の策定は、日本企業が取り組むべき課題である

21

新築マンション群(瀋陽市鉄西)



ご清聴ありがとうございました。

22